

多治見市内における高校生の移動実態に関するアンケート調査 調査結果報告書＜クロス集計＞

1. 調査の目的

多治見市内における学生の公共交通の利用実態や利用ニーズを把握し、今後の公共交通利用促進に関する施策検討に役立てるため、下記の通りアンケート調査を実施した。

2. 調査の概要

調査地域	多治見市内
調査対象	市内4校に通学する2年生 862名 ・多治見高等学校 183名 ・多治見西高等学校 271名 ・多治見北高等学校 268名 ・多治見工業高等学校 140名
調査方法	Microsoft Forms（学校別に作成 4フォーム）によるアンケート調査
調査期間	令和6年12月2日(月)～12月13日(金) / 12日間
回収率	市内4校に通学する2年生 42.2% (364名) ・多治見高等学校 33.9% (62名) ・多治見西高等学校 17.7% (48名) ・多治見北高等学校 82.1% (220名) ・多治見工業高等学校 24.3% (34名)

3. 調査の結果

調査結果を次頁以降に示す。

なお、比率はすべて百分率で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出しているため、割合の合計が100%にならない場合がある。また、項目別の集計では無回答が含まれていないため、各項目を足した数値が回収総数と一致しない場合がある。図表中の「N」は、回答者総数を表す。

4. クロス集計の項目

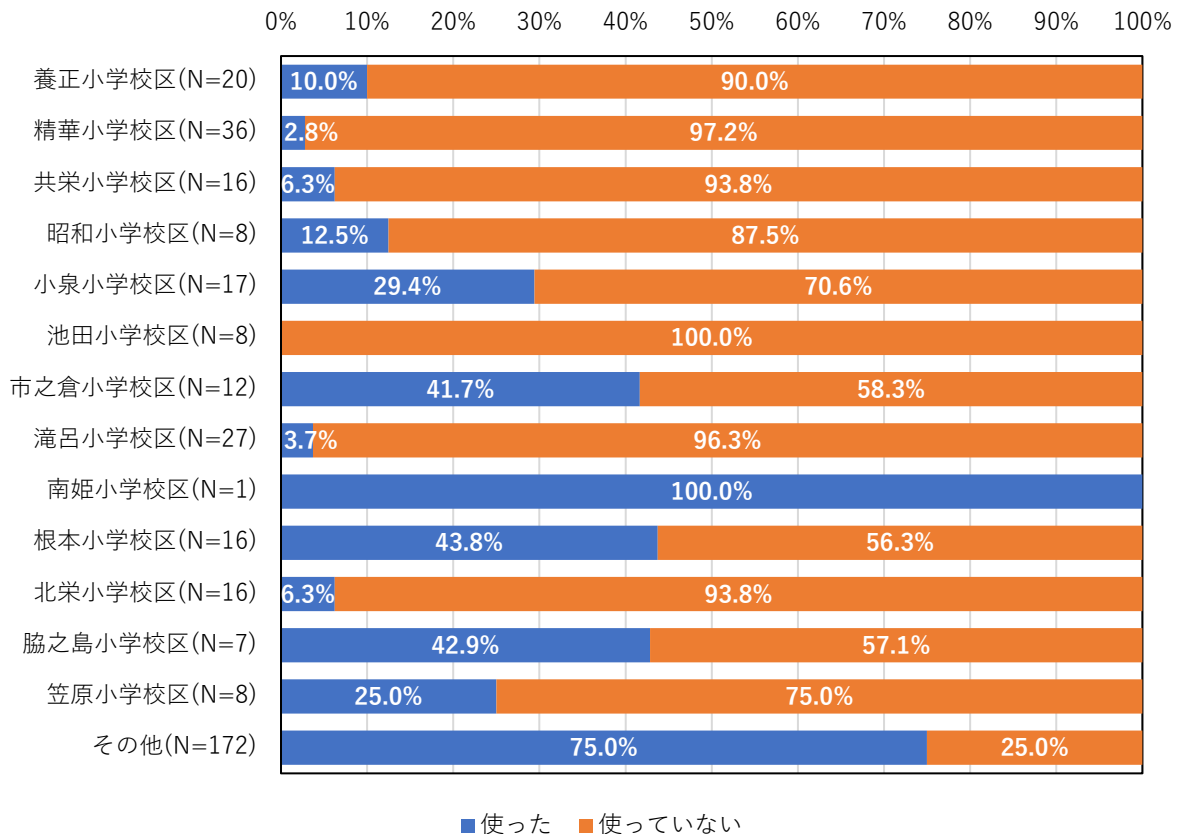
以下の設問について、居住地域、移動時間帯、移動手段ごとの意向を把握するため、クロス集計を行った。

設問	掲載頁	目的
2. 公共交通利用実態（通学日）		
(4)通学時の移動手段（鉄道利用）	3	・以下項目別に分析する。 ×居住地域 ×通学時の移動時間帯（出発） ×通学時の移動時間帯（帰着）
(4)通学時の移動手段（自宅⇄鉄道駅）	6	
(4)通学時の移動手段（鉄道駅⇄学校）	9	
(4)通学時の移動手段（自宅⇄学校）	12	
(5)自家用車を使った通学頻度	15	・以下項目別に分析する。 ×居住地域 ×通学時の移動時間帯（出発） ×通学時の移動時間帯（帰着）
3. 公共交通利用実態（休日）		
(6)休日の外出先	18	・以下項目別に分析する。 ×居住地域
(7)休日の外出先への移動手段	19	・以下項目別に分析する。 ×居住地域
4. 公共交通利用ニーズ		
(8)公共交通利用で重要視する事項（通学）	20	・以下項目別に分析する。 ×通学時の移動手段 ×特に重要視する路線（通学）
(9)公共交通利用で重要視する事項（休日）	24	・以下項目別に分析する。 ×休日の外出先への移動手段 ×特に重要視する路線（休日）

2. 公共交通利用実態（通学）

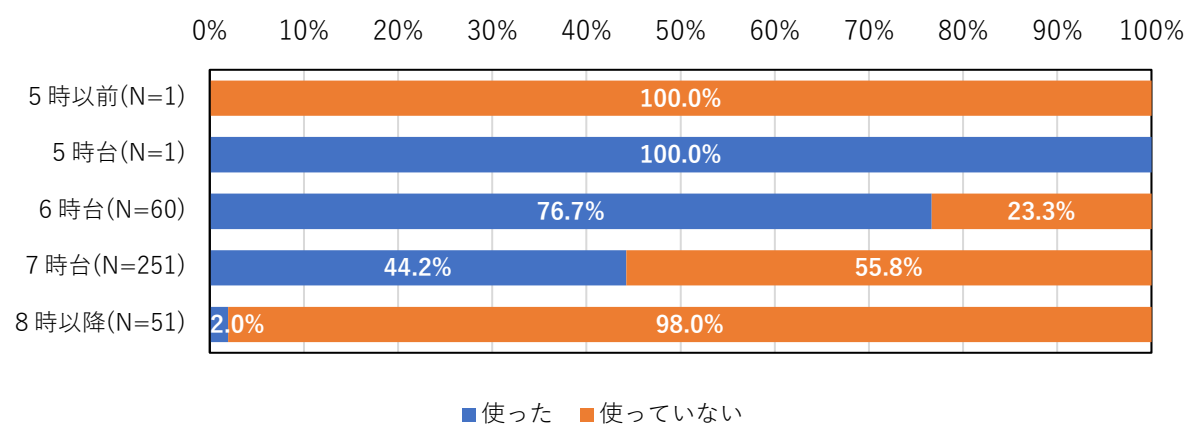
（４）通学時の移動手段（鉄道利用） × 居住地域（小学校区）

- ・ 多治見市外に居住している「その他」の学生の 7 割以上が、鉄道を利用して通学しています。
- ・ 多治見市内の 13 小学校区に居住している学生の半数以上が、鉄道を利用せずに通学しています。
- ・ 多治見市内のうち「市之倉小学校区」「南姫小学校区」「根本小学校区」「脇之島小学校区」に居住している学生の 4 割以上は、鉄道を利用して通学しています。



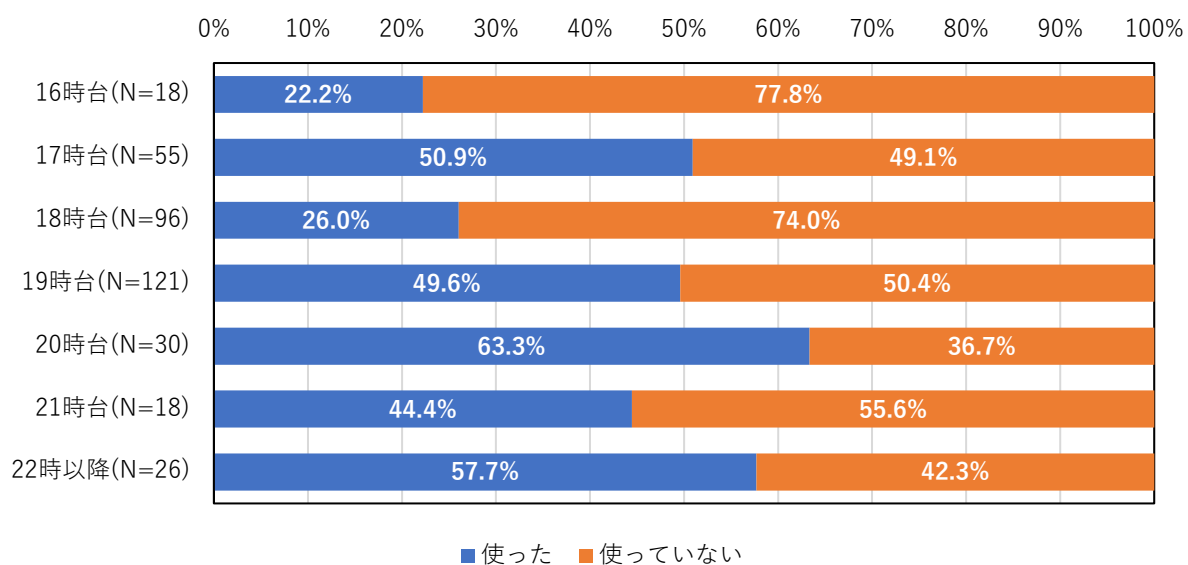
(4) 通学時の移動手段（鉄道利用） × 通学時の移動時間帯（出発）

- ・「8時以降」に通学する学生のほとんどが、鉄道を利用せずに通学しています。
- ・「5時台」から「7時台」へと時間帯が遅くなるにつれて鉄道を利用する学生が減少しています。



(4) 通学時の移動手段（鉄道利用） × 通学時の移動時間帯（帰着）

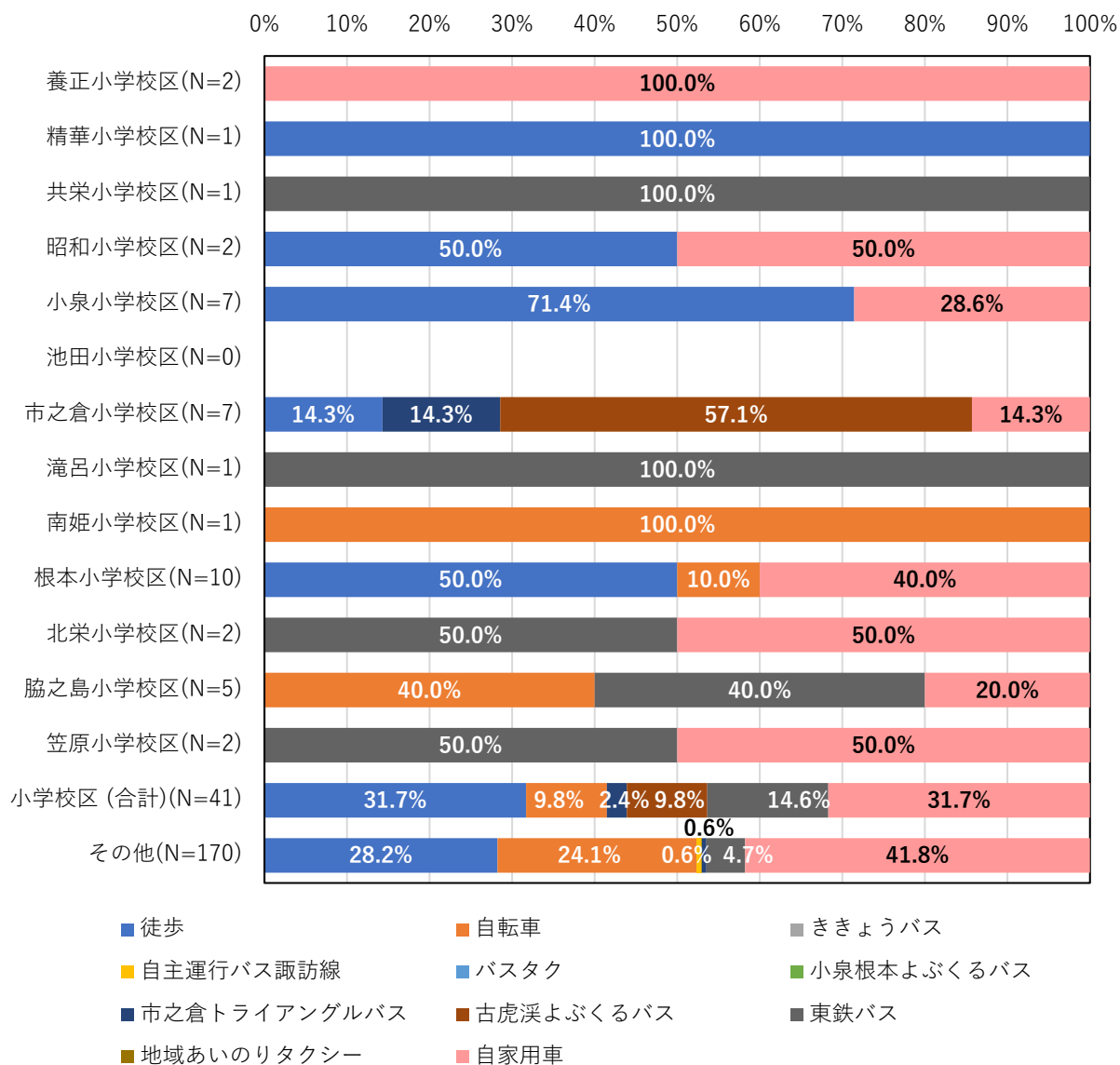
- ・「16 時台」及び「18 時台」に鉄道を利用している学生は 3 割以下となっていますが、その他の時間帯では、半数程度が鉄道を利用しています。



(4) 通学時の移動手段（自宅⇄鉄道駅） × 居住地域（小学校区）

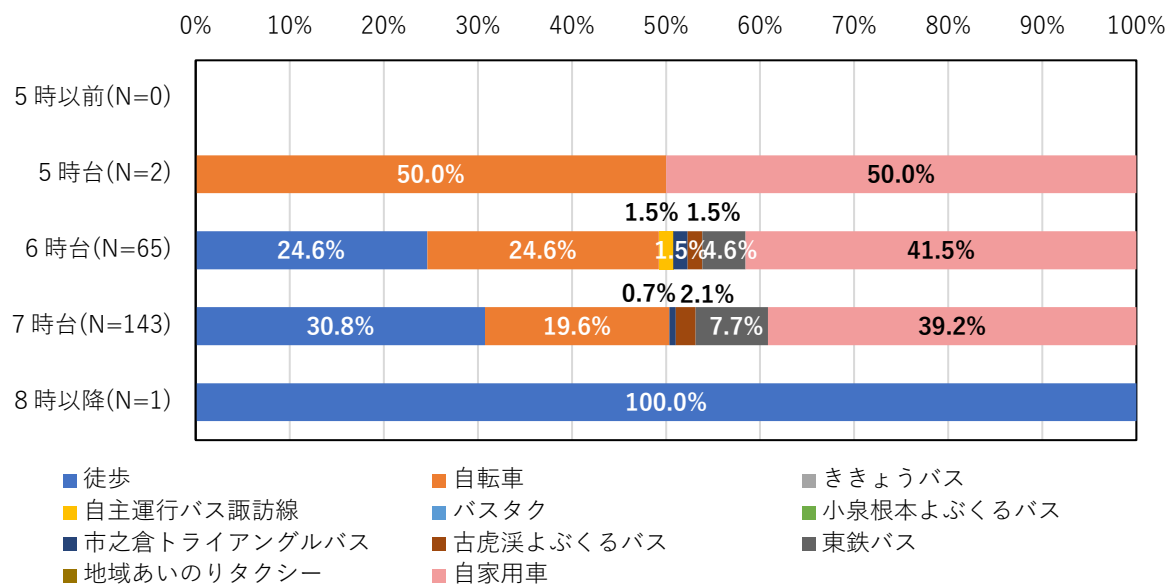
・小学校区全体の傾向としては、「徒歩」や「自家用車」による通学が最も多く、それぞれ3割程度を占めています。

※なお、多治見市内の13小学校区に居住している学生の半数以上が、鉄道を利用せずに通学しているため、小学校区別の回答数は少数となっています。



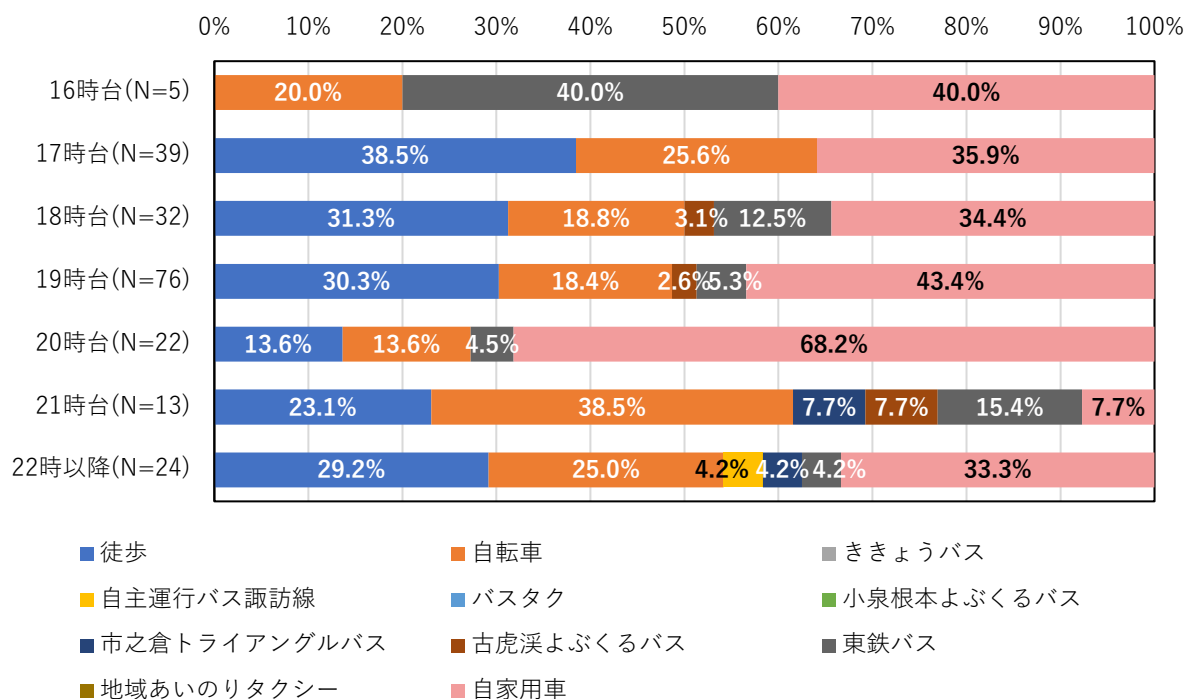
(4) 通学時の移動手段（自宅⇄鉄道駅） × 通学時の移動時間帯（出発）

- ・移動時間帯が遅くなるにつれ、「自転車」や「自家用車」を利用して鉄道駅まで移動する学生が減少し、「徒歩」で移動する学生が増加しています。
- ・「6時台」「7時台」においては、公共交通（主に「東鉄バス」）も利用されています。



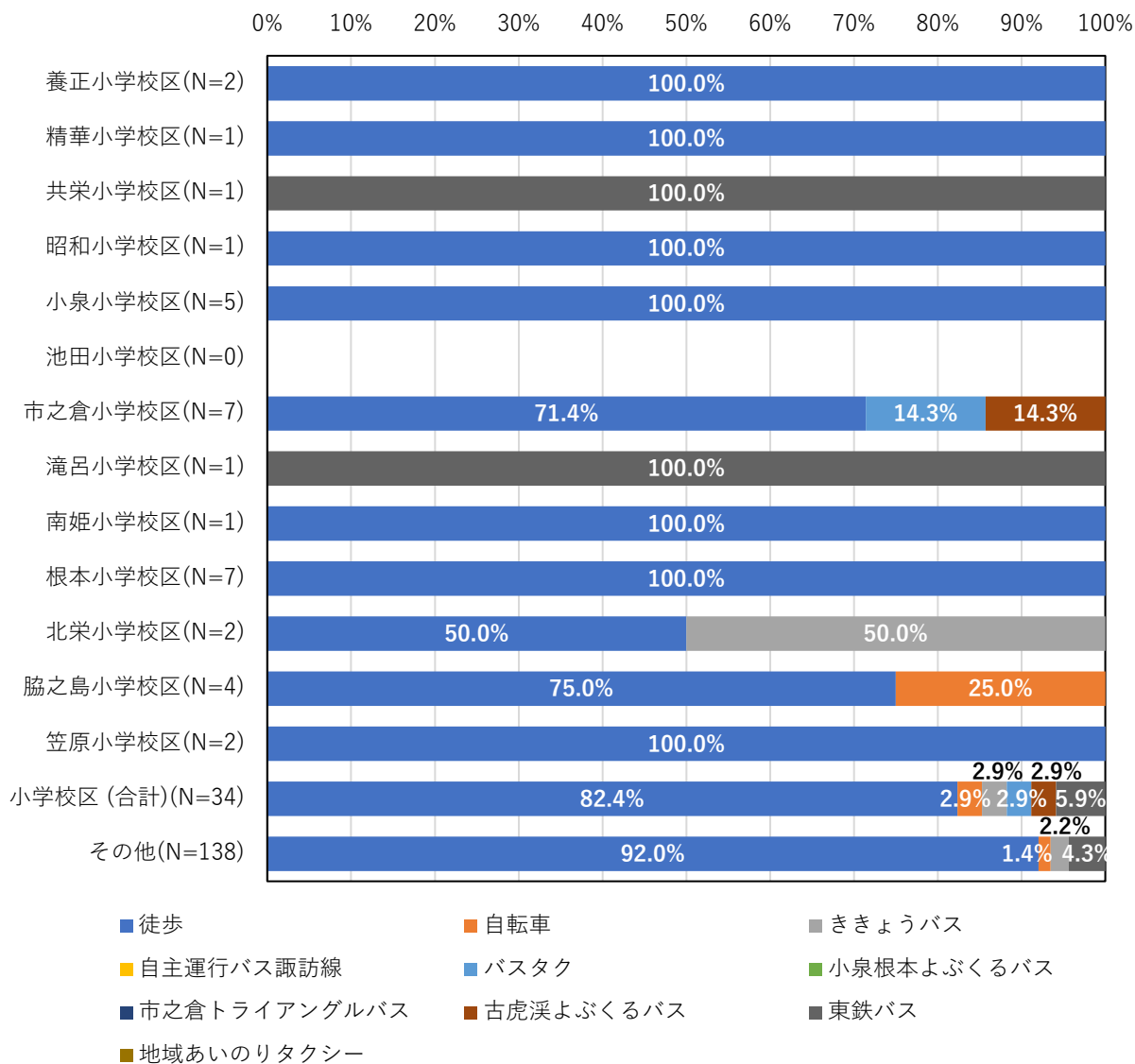
(4) 通学時の移動手段（自宅⇄鉄道駅） × 通学時の移動時間帯（帰着）

- ・「自家用車」による通学は、「20 時台」が最も多く、この時間帯は公共交通（「東鉄バス」「市之倉トライアングルバス」「古虎溪よぶくるバス」等）による通学は1割以下となっています。
- ・「21 時台」は、「自転車」「市之倉トライアングル」「古虎溪よぶくるバス」による通学が他の時間帯よりも多くなっています。



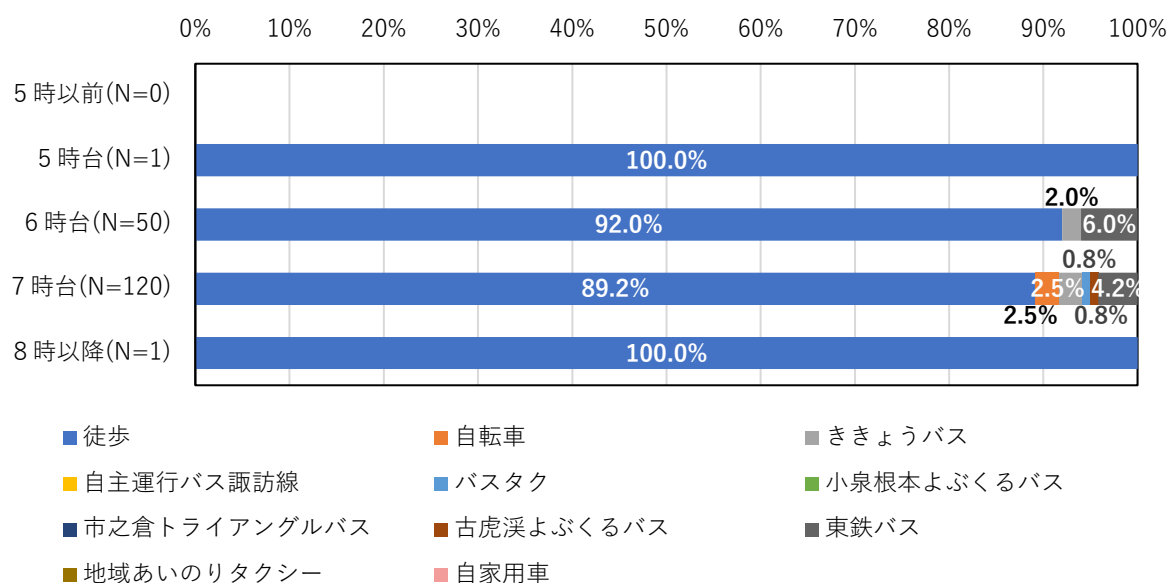
(4) 通学時の移動手段(鉄道駅⇔学校) × 居住地域(小学校区)

- ・小学校区全体の傾向としては、8割以上の学生が鉄道駅から学校まで「徒歩」で通学しています。
 - ・「市之倉小学校区」では、「バスタク」や「古虎溪よぶくるバス」も利用されています。
- ※なお、多治見市内の13小学校区に居住している学生の半数以上が、鉄道を利用せずに通学しているため、小学校区別の回答数は少数となっています。



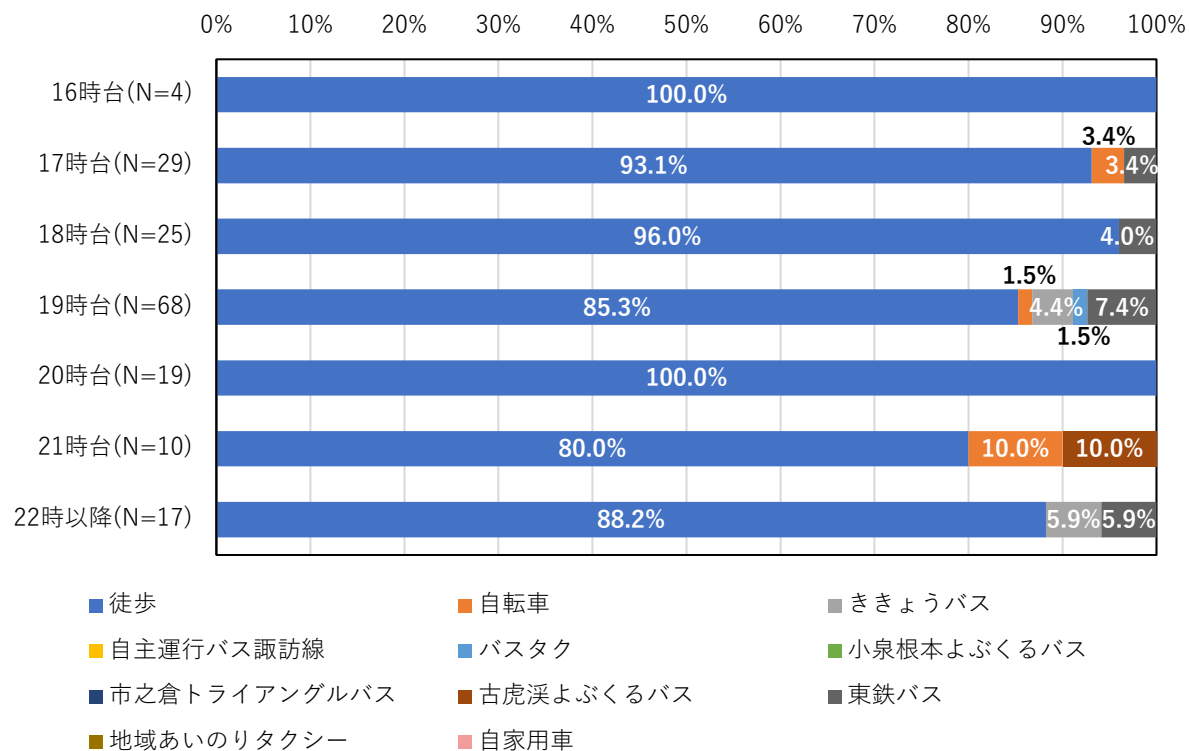
(4) 通学時の移動手段（鉄道駅⇄学校） × 通学時の移動時間帯（出発）

・ 5 時台以降の時間帯において、約 9 割の学生が鉄道駅から学校まで「徒歩」で通学しています。



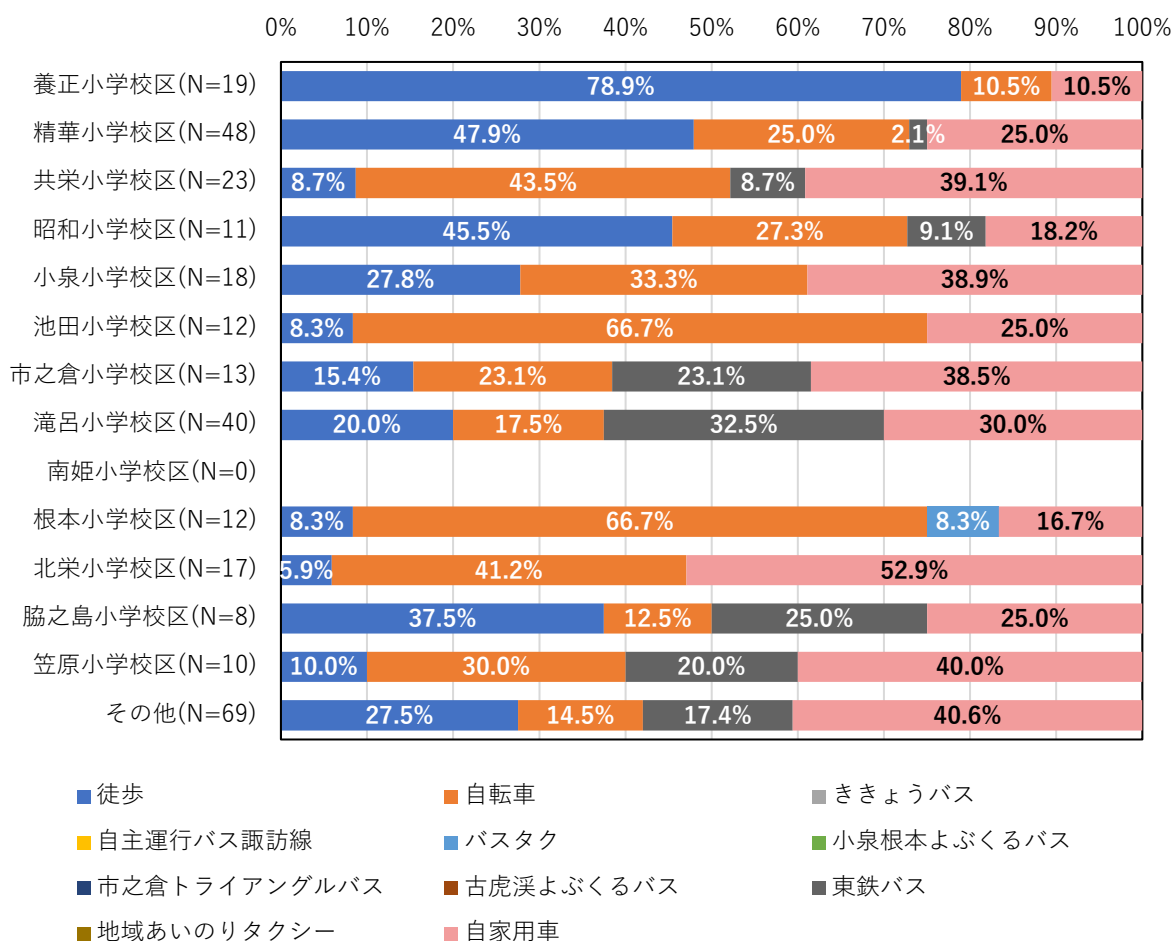
(4) 通学時の移動手段（鉄道駅⇄学校） × 通学時の移動時間帯（帰着）

- ・全ての時間帯において、8割以上の学生が鉄道駅から学校まで「徒歩」で通学しています。
- ・移動時間帯が遅くなるにつれて、公共交通（「ききょうバス」「東鉄バス」「古虎溪よぶくるバス」等）で移動する学生が増加しています。



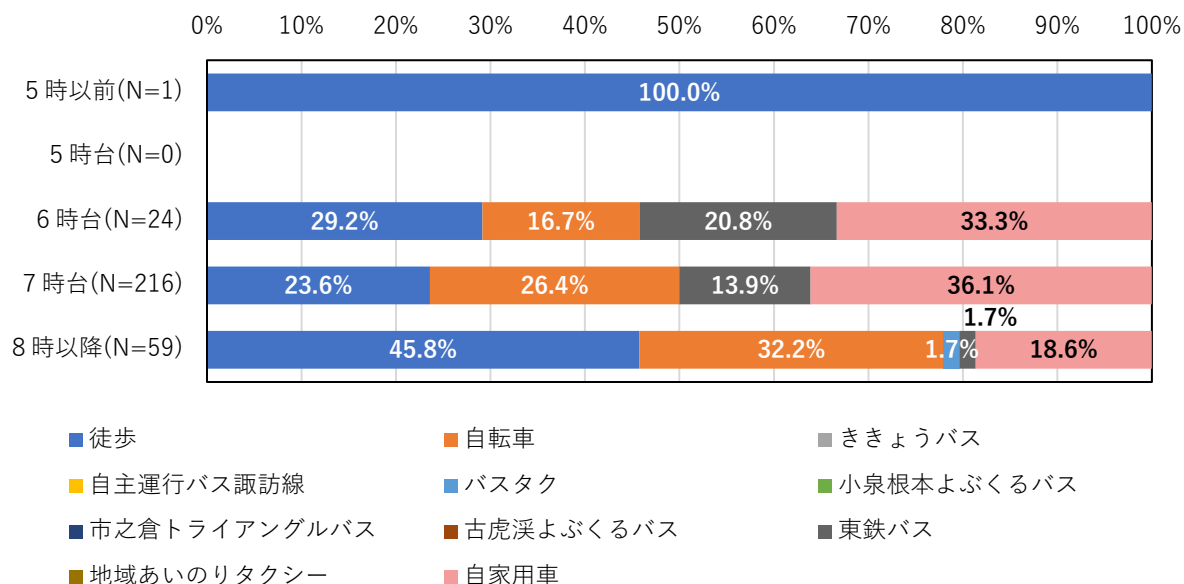
(4) 通学時の移動手段（自宅⇄学校） × 居住地域（小学校区）

- ・「市之倉小学校区」「滝呂小学校区」「脇之島小学校区」「笠原小学校区」では、2割以上の学生が「東鉄バス」を利用して自宅から学校まで通学しています。
- ・「根本小学校」では、8.3%の学生が「バスタク」で移動しています。



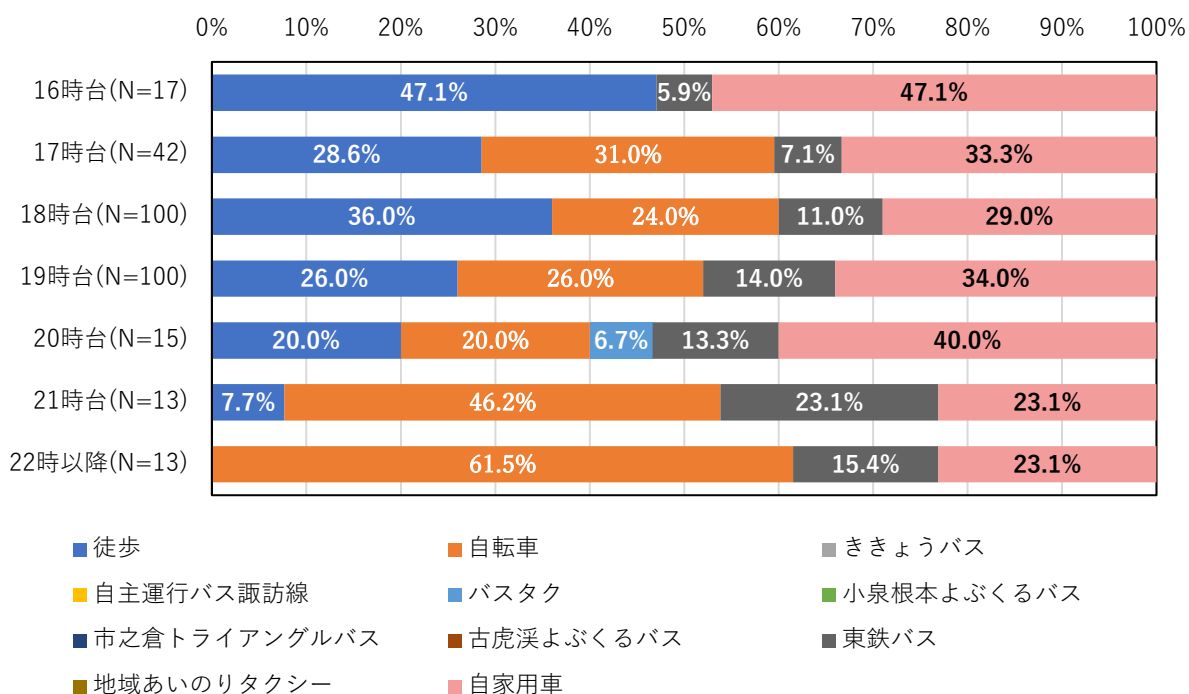
(4) 通学時の移動手段（自宅⇄学校） × 通学時の移動時間帯（出発）

- ・「6時台」から「8時以降」では、移動時間帯が遅くなるにつれ、自宅から学校まで「自家用車」で通学する学生が減少し、「徒歩」や「自転車」で通学する学生が増加しています。
- ・「6時台」及び「7時台」においては、「東鉄バス」を利用する学生が約2割を占めており、他の時間帯よりも多くなっています。



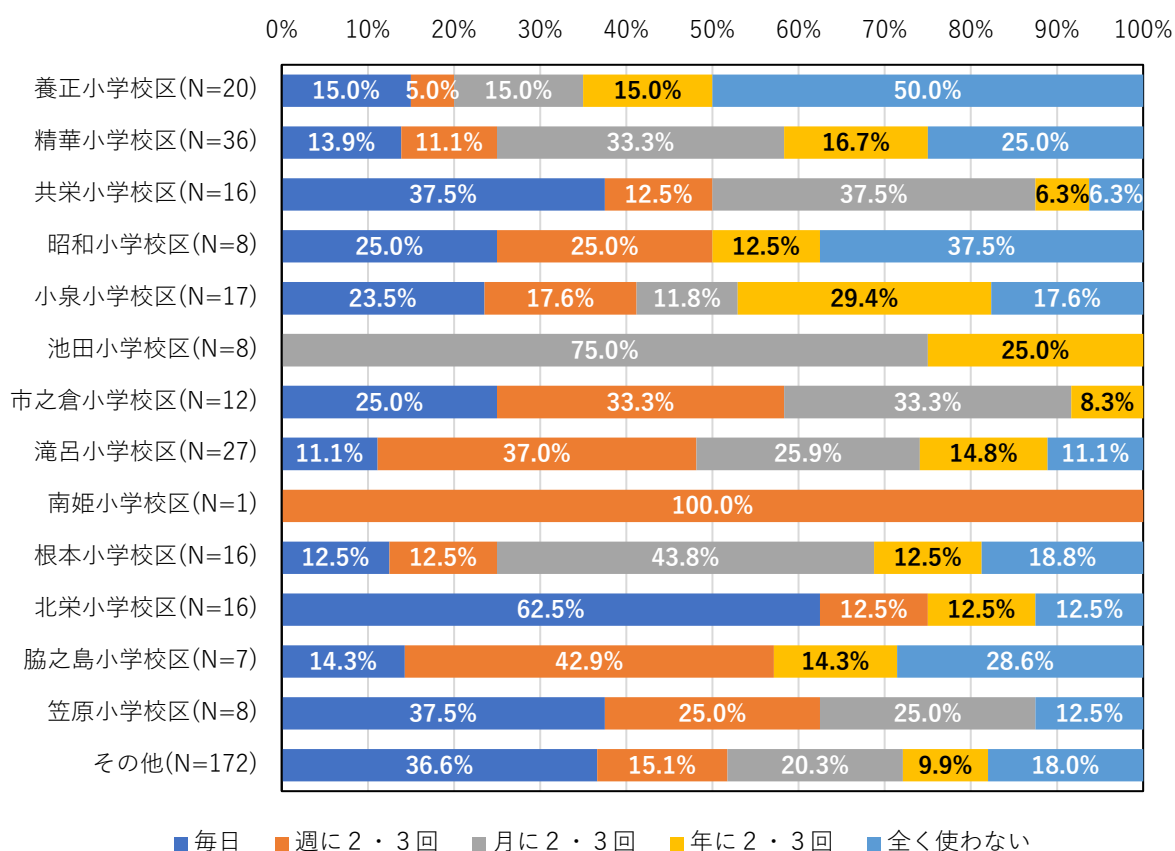
(4) 通学時の移動手段（自宅⇄学校） × 通学時の移動時間帯（帰着）

- ・ 移動時間帯が遅くなるにつれて、「徒歩」や「自家用車」で通学する学生が減少し、「自転車」「東鉄バス」で通学する学生が増加しています。
- ・ 「20 時台」では、6.7%の学生が「バスタク」を利用しています。



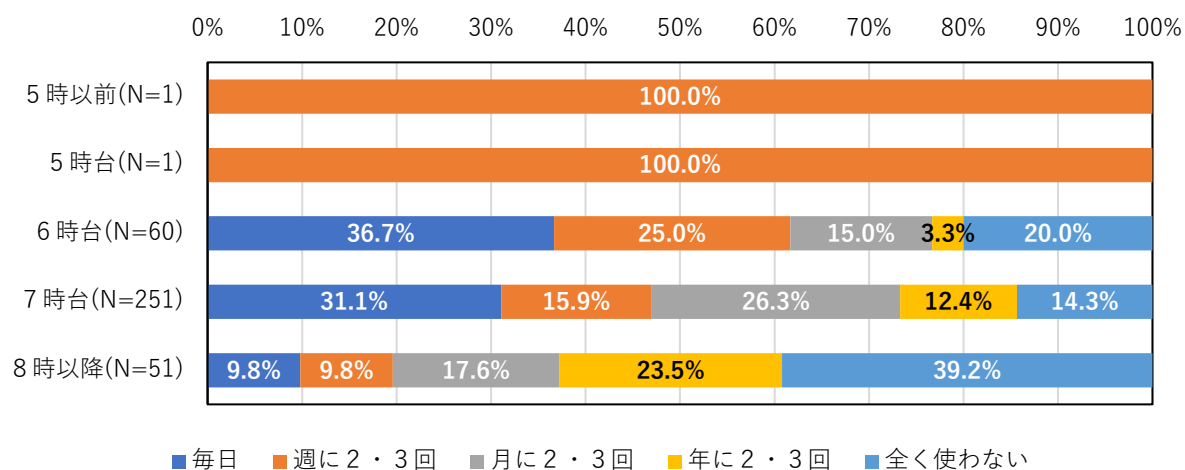
(5) 自家用車を使った通学頻度 × 居住地域（小学校区）

・「北栄小学校区」では、自家用車の通学頻度が「毎日」の学生は6割と最も多く、次いで「共栄小学校区」「笠原小学校区」で約4割を占めています。



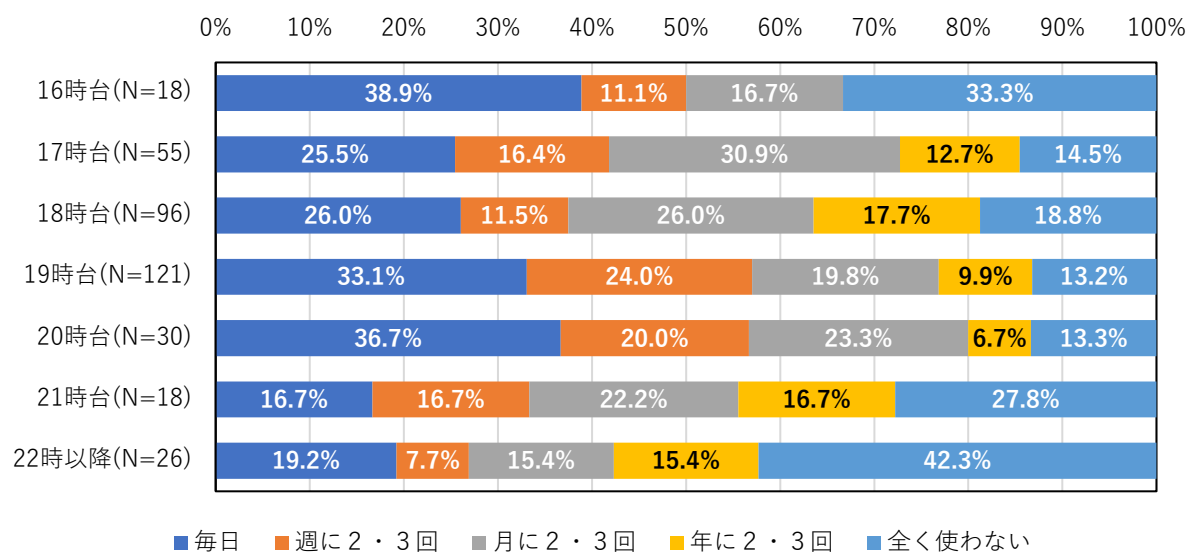
(5) 自家用車を使った通学頻度 × 通学時の移動時間帯（出発）

- ・「6 時台」及び「7 時台」では、自家用車の通学頻度が「毎日」「週に 2・3 回」といった高頻度の学生が半数以上を占めています。
- ・「8 時以降」では、「全く使わない」や「年に 2・3 回」といった学生が 6 割を占めており、半数以上の学生が通学時における自家用車の利用頻度が低くなっています。



(5) 自家用車を使った通学頻度 × 通学時の移動時間帯（帰着）

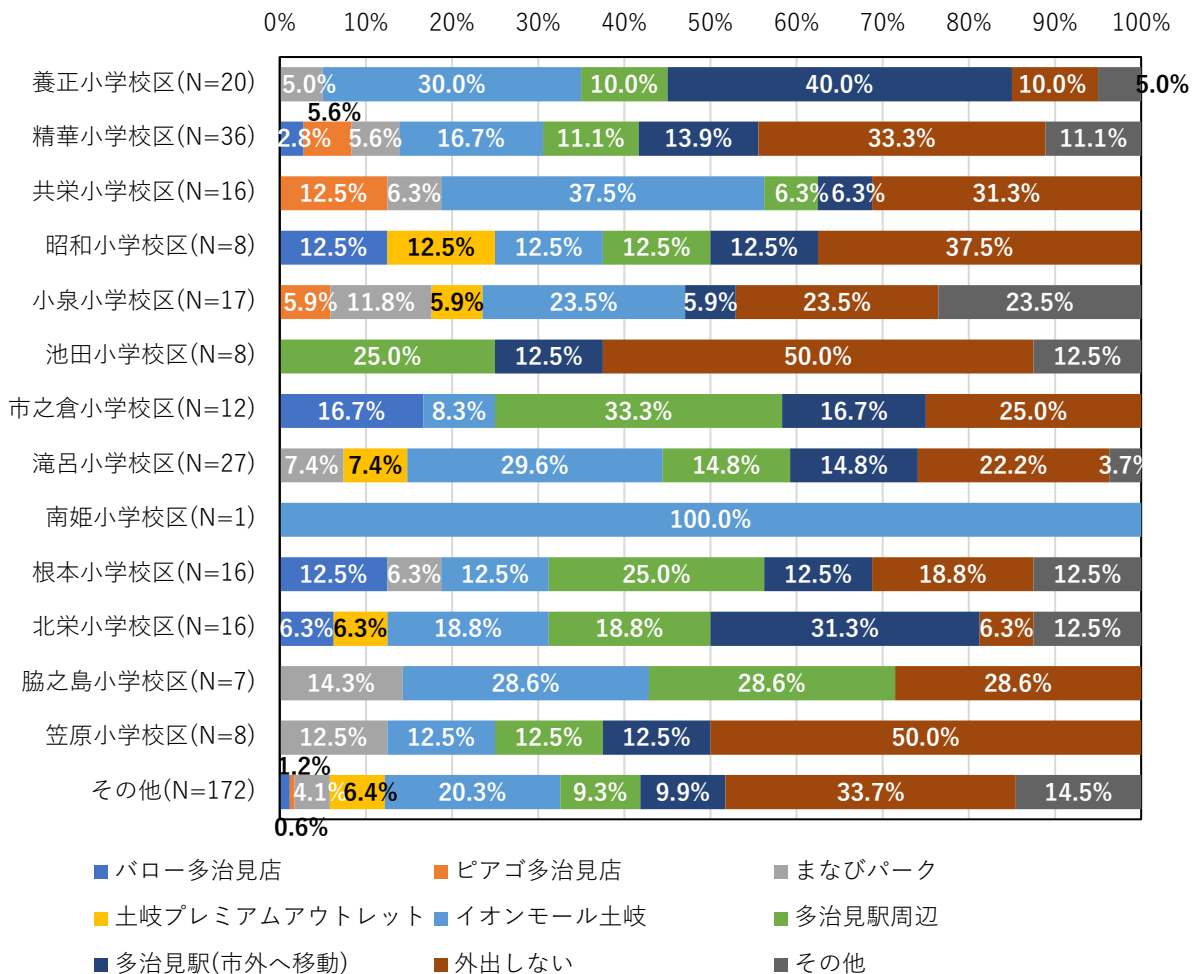
- ・「16 時台」「19 時台」「20 時台」では、「毎日」「週に 2・3 回」の学生が 5 割を占めており、通学における自家用車の利用頻度が高い学生が半数を占めています。
- ・「21 時台」「22 時以降」では、「全く使わない」や「年に 2・3 回」の学生が 5 割を占めており、半数以上の学生が通学時における自家用車の利用頻度が低くなっています。



3. 公共交通利用実態（休日）

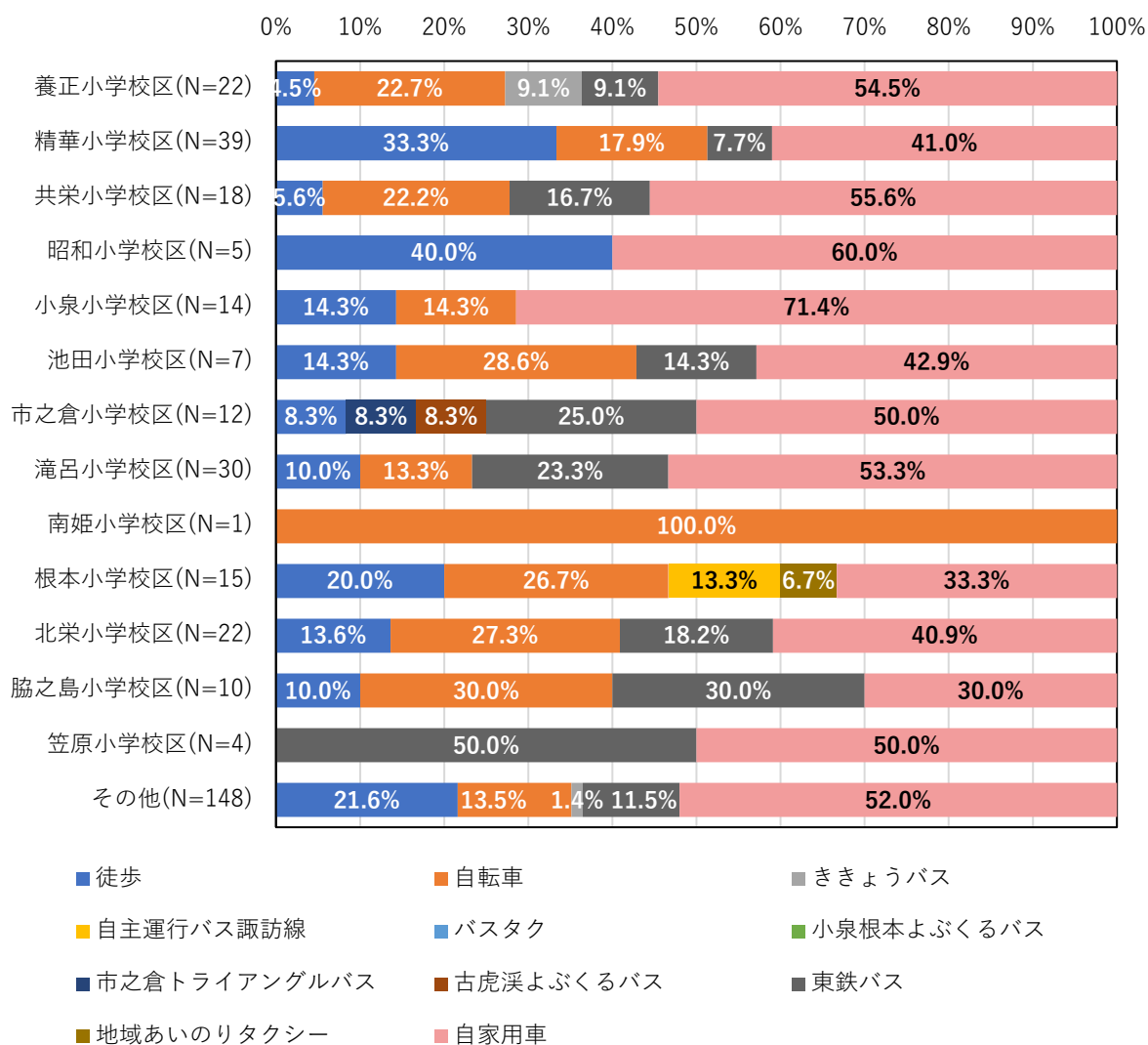
（6）休日の外出先 × 居住地域（小学校区）

- ・「養正小学校区」「南姫小学校区」「北栄小学校区」では、「外出しない」が1割以下で休日に外出する割合が高くなっています。外出先としては、「イオンモール土岐」や「多治見駅」が多くなっています。
- ・「養正小学校区」「共栄小学校区」「滝呂小学校区」「南姫小学校区」「脇之島小学校区」では、約3割が「イオンモール土岐」へ外出しています。
- ・「養正小学校区」「市之倉小学校区」「北栄小学校区」「脇之島小学校区」では、半数以上が多治見駅方面（「多治見駅周辺」「多治見駅（市外へ移動）」）へ外出しています。



(7) 休日の外出先への移動手段 × 居住地域（小学校区）

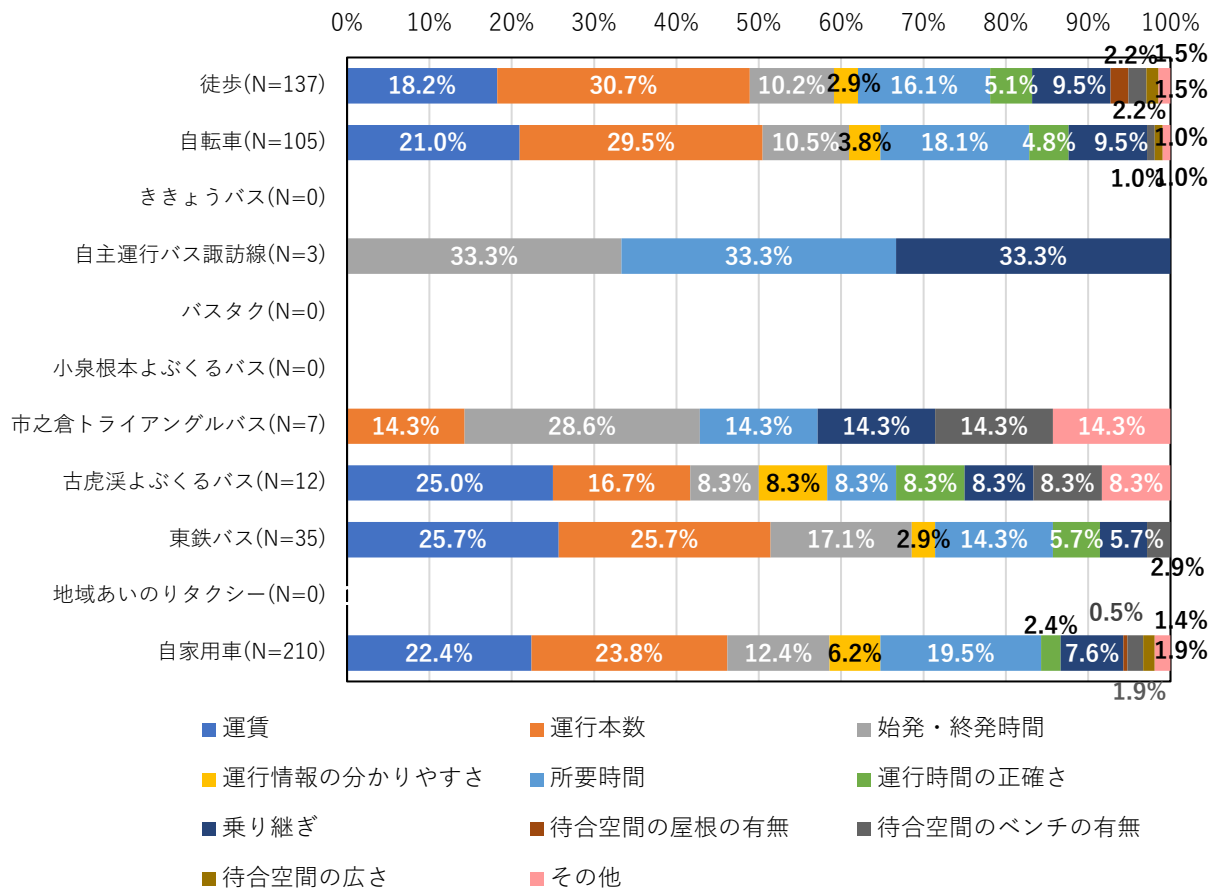
- ・全ての小学校区で3割以上の学生が「自家用車」で休日の外出先へ移動しています。
- ・「小泉小学校区」及び「昭和小学校区」では、6割の学生が「自家用車」で移動しており、他の校区と比較して多くなっています。



4. 公共交通利用ニーズ

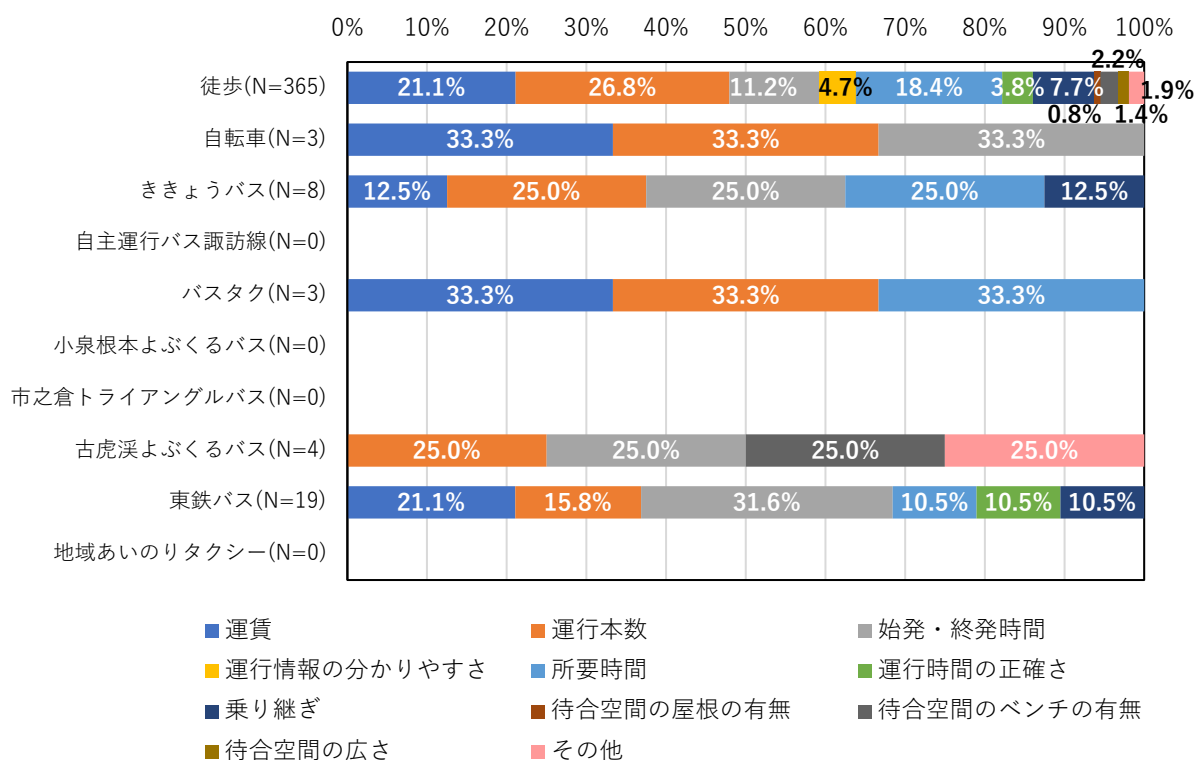
(8) 公共交通利用で重要視する事項(通学) × 通学時の移動手段(自宅⇄鉄道駅)

- ・自宅から鉄道駅まで「徒歩」「自転車」「古虎溪よぶくるバス」「東鉄バス」「自家用車」で通学している学生は、特に「運賃」「運行本数」を重要視しています。
- ・「自主運行バス諏訪線」で通学する学生は、「始発・終発時間」「所要時間」「乗り継ぎ」を重要視しています。
- ・「市之倉トライアングルバス」で通学する学生は、特に「始発・終発時間」を重要視しています。



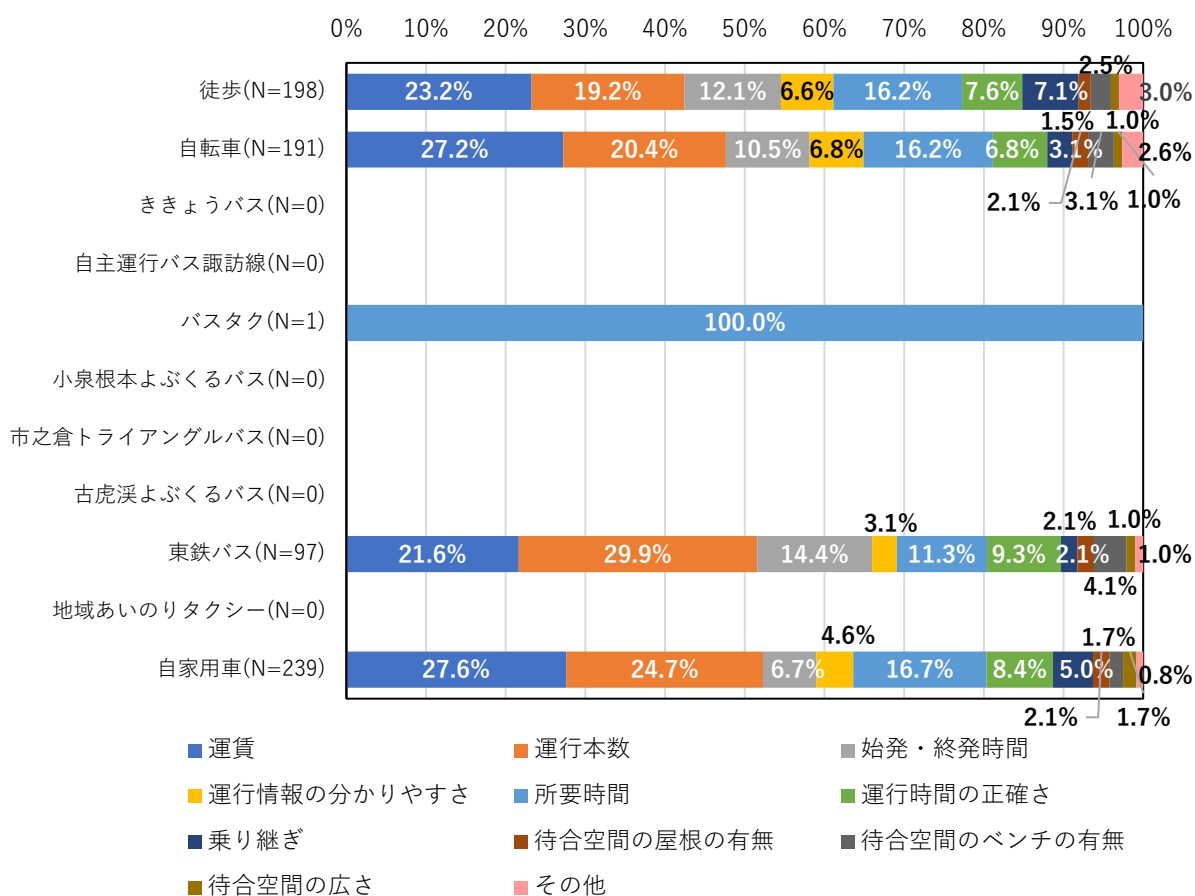
(8) 公共交通利用で重要視する事項(通学) × 通学時の移動手段(鉄道駅⇔学校)

- ・ 鉄道駅から学校まで「徒歩」で通学している学生は、特に「運行本数」を重要視しています。
- ・ 「自転車」で通学する学生は、「運賃」「運行本数」「始発・終発時間」を重要視しています。
- ・ 「ききょうバス」で通学する学生は、特に「運行本数」「始発・終発時間」「所要時間」を重要視しています。
- ・ 「バスタク」で通学する学生は、「運賃」「運行本数」「所要時間」を重要視しています。
- ・ 「古虎溪よぶくるバス」で通学する学生は、「運行本数」「始発・終発時間」「待合空間のベンチの有無」を重要視しています。
- ・ 「東鉄バス」で通学する学生は、特に「始発・終発時間」を重要視しています。



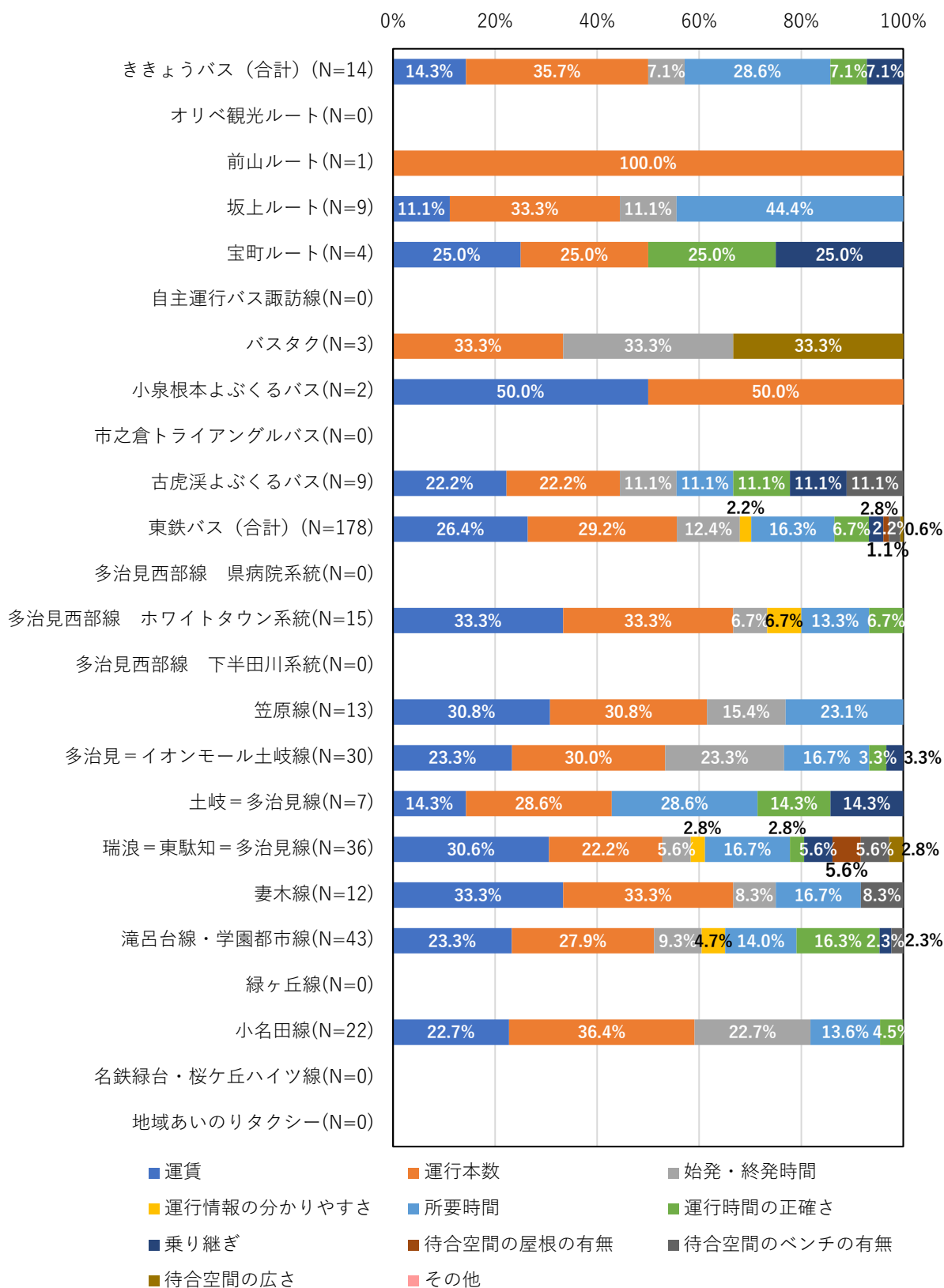
(8) 公共交通利用で重要視する事項(通学) × 通学時の移動手段(自宅⇄学校)

- ・「徒歩」「自転車」「東鉄バス」「自家用車」で自宅から学校まで移動している学生は、特に「運賃」「運行本数」を重要視しています。
- ・「バスタク」で移動する学生は、「所要時間」を重要視しています。



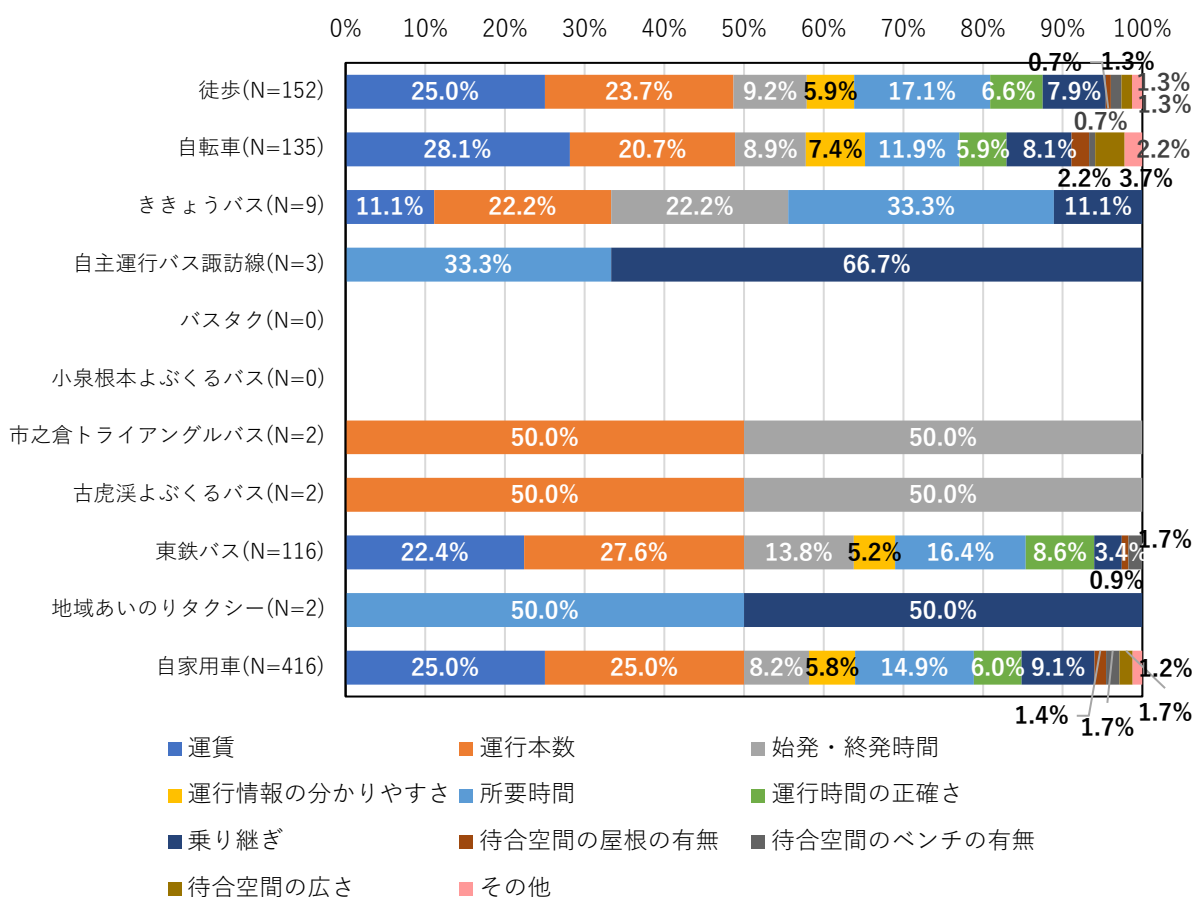
(8) 公共交通利用で重要視する事項(通学) × 特に重要視する路線(通学)

- ・全体的な傾向として、通学時における公共交通利用では、特に「運賃」「運行本数」「始発・終発時間」「所要時間」が重要視されています。
- ・「ききょうバス宝町ルート」では、「運行時間の正確さ」や「乗り継ぎ」についても重要視されています。
- ・「バスタク」では、「待合空間の広さ」についても重要視されています。



(9) 公共交通利用で重要視する事項(休日) × 休日の外出先への移動手段

- ・「徒歩」「自転車」「東鉄バス」「自家用車」で休日の外出先へ移動している学生は、特に「運賃」「運行本数」を重要視しています。
- ・「ききょうバス」で移動する学生は、特に「所要時間」を重要視しています。
- ・「自主運行バス諏訪線」「地域あいのリタクシー」で移動する学生は、「所要時間」「乗り継ぎ」を重要視しています。
- ・「市之倉トライアングルバス」「古虎溪よぶくるバス」で移動する学生は、「運行本数」「始発・終発時間」を重要視しています。



(9) 公共交通利用で重要視する事項(休日) × 特に重要視する路線(休日)

- ・全体的な傾向として、休日における外出時の公共交通利用では、特に「運賃」や「運行本数」が重要視されています。
- ・「ききょうバス坂上ルート」「ききょうバス宝町ルート」「東鉄バス妻木線」では、「始発・終発時間」についても重要視されています。
- ・「ききょうバス宝町ルート」「自主運行バス諏訪線」「東鉄バス土岐＝多治見線」では、「乗り継ぎ」についても重要視されています。

